# 虎高PTA通信

第130号

発行　滋賀県立虎姫高等学校PTA／〒529-0112 滋賀県長浜市宮部町2410／TEL 0749-73-3055／http://www.torahime-h.shiga-ec.ed.jp

# 活躍した部活動紹介
## 秋季総体

### ソフトテニス部女子

先輩が抜けて、主将となった私には責任感が生まれました。「先輩たちから受け継いだ活気を、なくすわけにはいかない」と考えたからです。そのため、「楽しく、元気に」をチームのテーマに設定し、部員が団結して頑張ってきました。その取り組みがベスト８につながったと思います。この冬は更に体力トレーニングなどパワーアップして、来春の総体でもより良い成果を残したいと思います。

主将　２年　黒井　綺子

### 卓球部女子

秋季総体で団体ベスト８に入賞でき、近畿大会に出場します。近畿大会では、私たちを支えてくれる方々に感謝して、全力で頑張りたいと思います。

今春、入部した時の女子部員は２名でした。その後、団体戦出場条件の４名に増えた時は大変うれしかったですし、「この４名で、お互いにカバーして戦おう」と考えていました。

秋季大会前に私は骨折をして、体調が万全ではありませんでした。しかし、その分を仲間が協力しようと粘り強く戦ってくれたので、ベスト８を決める長浜北星高校との試合でフルセットの末に勝つことができたのだと思います。「仲間を信じて、粘り強く戦う」ことを目標に頑張りたいです。

女子部長　１年　呉竹　真帆

### 囲碁・将棋部

１月の全国大会に出場することになりました。予選前、私は「原点に戻って戦おう」と考え準備をしました。仲間と戦術を練ったり、勝負に対して積極性がでるような方法を試した結果、代表になれたのは幸運でした。しかし、決勝での敗退は準備の甘さだったと痛感しました。

全国大会まで準備期間がありますが、本番で勝つための準備をしていきます。特に、将棋だけでなく、学習や兼部しているバレー部の練習にも全力で取り組むことが、「勝負どころで迷わず自分の将棋ができる」ために重要だと思っています。

囲碁・将棋部　２年　村上　浩崇

## 県民体育大会・高文祭などの結果

### 県民体育大会

**剣道部**
男子団体
1回戦　虎姫 3－1 水口東
2回戦　虎姫 2－2 近江兄弟社
（得本数 4－5）
女子団体
1回戦　虎姫 0－5 八幡商業

**野球部**
1回戦　虎姫 10－11 石山

**水泳部**
男子　100m背泳ぎ　6位　鶴見正平
200m背泳ぎ　5位　鶴見正平
女子　200m自由形　5位　竹村茉歩

**卓球部**
男子団体
1回戦　虎姫 3－1 東大津
2回戦　虎姫 1－3 大津商業
男子シングルス
浅見健太郎　ベスト32
女子団体
1回戦　虎姫 3－1 湖南農業
2回戦　虎姫 1－3 安曇川

**アメリカンフットボール部**
1回戦　虎姫 12－19 長浜

**ソフトテニス部男子**
団体　1回戦　虎姫 0－3 東大津
個人　2回戦　3ペア
3回戦　1ペア
4回戦　1ペア

**ソフトテニス部女子**
団体　1回戦　虎姫 2－1 河瀬
2回戦　虎姫 0－3 草津東
湖多野杯　優勝　河端・黒井組

**バドミントン部**
男子団体　1回戦　虎姫 2－3 彦根西
1回戦　虎姫 3－2 滋賀学園
2回戦　虎姫 3－0 近江
3回戦　虎姫 0－3 滋賀短大附属
女子団体　ベスト8

**陸上部**
男子400mH
1位　押谷真鈴　大会新記録（53秒28）
・最優秀選手賞

### 滋賀県高校ユース陸上競技対抗選手権大会

男子
1年100m　1位　西村顕志　近畿大会出場
2年400m　1位　押谷真鈴　近畿大会出場
400mH　1位　押谷真鈴
近畿大会出場　最優秀選手賞
400mリレー　4位
（丸岡・押谷・小川・西村）近畿大会出場
100mリレー　5位
（稲葉・押谷・川村・西村）近畿大会出場
女子
1年100m　1位　鍵弥綾香　近畿大会出場
200m　3位　鍵弥綾香　近畿大会出場

### 近畿高校ユース陸上競技対抗選手権大会

男子
1年100m　3位　西村顕志
2年400m　7位　押谷真鈴
400mH　4位　押谷真鈴

### 「国民体育大会」・「日本ユース陸上競技対抗選手権大会」

400m・400mH　押谷真鈴

### 秋季高校総体

**剣道部**
男子団体　1回戦　虎姫 0－5 米原
個人　2回戦　1人
女子団体　1回戦　虎姫 0－5 水口
個人　2回戦　4人

**野球部**
1回戦　虎姫 0－3 高島

**アーチェリー部**
男子団体　3位
男子個人　10位　中村柊志

**卓球部**
男子団体　1回戦　虎姫 2－3 甲南
女子団体　2回戦　虎姫 3－1 長浜北星
準々決勝　虎姫 1－3 膳所
ベスト8　近畿大会出場
ダブルス　ベスト16
（吉原・山本組）（高田・呉竹組）

**アメリカンフットボール部**
1回戦　虎姫 30－22 滋賀学園
2回戦　虎姫 0－65 立命館守山
3位決定戦　虎姫　21－6 長浜農業

**サッカー部**
1回戦　虎姫 1－2 八日市

**ソフトテニス部男子**
団体　1回戦　虎姫 1－2 立命館守山
個人　2回戦　2ペア

**ソフトテニス部女子**
団体　1回戦　虎姫 3－0 八幡
2回戦　虎姫 2－1 長浜
3回戦　虎姫 0－3 大津商業
ベスト8
個人　ベスト16（河端・黒井組）
近畿インドア選手権大会出場

**バスケットボール部男子**
2回戦　虎姫 47－83 大津

**バスケットボール部女子**
1回戦　虎姫 109－18 高島
2回戦　虎姫 43－79 玉川

**バレーボール部男子**
予選　虎姫 1－2 比叡山
虎姫 2－0 大津
決勝　1回戦　虎姫 2－0 東大津
2回戦　虎姫 0－2 高島

**バレーボール部女子**
予選　虎姫 2－0 石部
虎姫 1－2 高島
決勝　1回戦　虎姫 0－2 米原

**バドミントン部**
男子団体　2回戦　虎姫 1－4 立命館守山
女子団体　1回戦　虎姫 3－2 彦根総合
2回戦　虎姫 3－2 彦根翔陽
3回戦　虎姫 0－3 八日市

**陸上部**
男子100m　3位　西村顕志
200m　2位　西村顕志
400mリレー　3位
（小川・丸岡・西村・押谷）
1600mリレー 6位
（木村・押谷・稲葉・西村）
女子200m　8位　鍵弥綾香

### 高校文化祭

**演劇部**
藤田香穂作『逃亡なう。』上演

**ブラスバンド部**
「吹奏楽のための犬夜叉」
和田薫作曲　堀浩治指揮

**ＥＳＳ**
第21回　ミしがンカップ出場
大橋まり子

**囲碁・将棋部**
団体・2部リーグ
準優勝（井上・丸山・中尾）
個人・1部リーグ
決勝トーナメント進出　丸山晋紀
決勝トーナメント　準優勝　村上浩崇
第20回全国高文連将棋
新人大会個人戦出場
個人・２部リーグ
決勝トーナメント　４位　中尾嘉希
決勝トーナメント進出　中辻凉

**生物・化学部**
「自然数の和について」前田智紀

## 国体を経験して

# ひとりじゃない

陸上部 主将 2年 押谷 真鈴

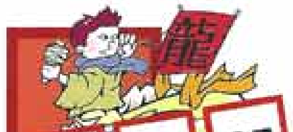
私は夏に国体選手に選ばれた。長い長い戦いは、そこから始まった。

それからは、練習会や合宿が毎週のようにあり、厳しい練習が続いた。疲労も溜まり、思うように調子の上がらない日々。不安で、心が折れそうになっていた。それでもコーチは私を信じて、最後まで指導してくださった。そして、同じように苦しみながらも、一緒に戦う仲間がいた。応援してくれる人たちがいた。ひとりじゃなかった。

国体に選ばれた2ヶ月後、私は国体少年A400mHのスタートラインに立っていた。もう、不安は無かった。迷う必要は無かった。ひとりじゃなかったから。

結果、53"19の自己ベスト。予選落ちではあったが、それ以上に得るものもあり、今までで一番のレースができた。

私は、たくさんの人に支えられて、この国体を走りきった。国体に携わって下さったたくさんの方々、共に戦った選手達、頑張れと応援してくれた友達、学校の先生方、家族。その全ての支えがあってこそ、国体という大舞台でベストを更新することができたのだ。逆に、その支えなしでは、そんな結果は成し得なかったであろう。人はひとりでは戦えない。それは、陸上だけじゃない。人は、ひとりじゃ生きられない。誰かが支えてくれるから、今日も明日も、生きていける。そう強く感じた。そしてその感謝の気持ちを忘れずに毎日を生きたいと思う。



# 美術部 めざせ、甲子園

野球部以外からも、甲子園をめざしてくれました。美術部が『年賀状甲子園』にエントリーをしました。

### テーマ イラストレーション

2年 堀 潤亮 作

一般的なこの言葉を入れたのは、メール主流の現代人の友人たちに今一度、新年に年賀状を出して祝う、和の尊さと華やかさを思い出して貰う為です。龍で厳かさを、着物で華やかさを、桜で可憐さをそれぞれ表現しました。

### テーマ ルーキー応援

1年 菅井 有香 作

駿太選手の背番号"8"を2012年の干支である"辰"と星で表現しました。右上に辰の角とたてがみで「辰」になっています。駿太選手は星をつかまえています。

### テーマ 写 真

1年 筧 悠 作

私は、毎年年賀状を手書きで描いています。友達に送る年賀状も、親戚に送る年賀状も。だから、私は手書きで描きたいと思いました。手書きの暖かみが相手に伝わればいいなと思います。

# 64回生 夏の勉強合宿

8月16日(火)～18日(木)の2泊3日、風光明媚な菅浦のつづらお荘で、勉強合宿を実施しました。1日10時間学習の習慣付けを目指して68人が参加し、真剣に学習しました。2日目の進路講演会でもやる気をもらいました。

## 事後のアンケートの結果

- みんなが頑張っている姿を見て、自分も勉強に集中できたから。
- 家ではだらけてしまうけど、ここでは周りも人がいるのでしっかり10時間もできた。
- まわりがやっているとやる気になるし、やらなきゃいけなかったから集中してできた。講演も良かった。
- 皆が頑張っているなかで勉強できたので、良い刺激を受けながら集中して取り組むことができました。
- 勉強を頑張れたというのはもちろんだけど、2日目に講演があったのが本当に良かったと思う。
- 「みんなで」という一体感がすごく感じられて、周りに触発されながら、集中力を持続させることができました。
- みんなで一緒の空間ですることで、一人でやっているんじゃないんだなと、一体感を持つことができた。受験は団体戦です。





# 学 年 の 活 動

## 1年

### 校外活動（京都）

10月14日(金)に京都大学へ行き、京都大学百周年時計台記念館で「京都大学生と語る会」を持ち、二人の京都大学生から話を聞きました。

京大生の方々は本校在学中部活動も熱心に取り組み、現役で合格されました。彼らの「刹那的に生きるのでなく長期的な視点を持て」という言葉が大変印象に残りました。京大は最難関大学ですが、がんばって目指そうという声が聞かれ、大学へのモチベーションが大いにあがりました。

### ボランティア体験学習

**点字**

11月10日(木)・11日(金)のそれぞれ5・6限に本校視聴覚教室において、田渕まり子氏を講師にお招きして行われました。

日常生活の中で多くの点字が利用されています。点字を書く・読むこと中心の体験学習をしました。

**車椅子**

11月10日(木)5・6・7限に長浜市街地へ移動して行われました。天気に恵まれ、長浜市役所に集合し、点呼・全体説明・諸注意後、4コース9ポイントにて体験学習が始まりました。

車椅子での活動の困難さ・不自由さを体験することができました。

**手話**

11月11日(金)3・4限に本校視聴覚教室にて、中西久美子氏、手話通話の萩原さつき氏、村崎晴美氏をお招きして行われました。

東日本大震災の時に聴覚障害者が多く亡くなっている話などから、思いを伝え合うコミュニケーションの大切さを学習しました。

### 校外フィールドワーク

11月2日(水)に「Field Work in 虎御前」を実施し、虎御前山に上り昼食を楽しむと同時に郷土学習に取り組みました。虎御前山といえば小谷城攻防戦で織田軍が陣を構えた歴史上非常に重要な場所です。昼食後、陣跡を散策し当時に思いをはせました。天候にも恵まれ伊吹山、竹生島が一望でき、大変良い機会となりました。また実施にあたり、PTA常任委員の藤森さんに資料提供いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

## 2年

### 修学旅行

北海道（トマム・小樽・札幌）方面
平成23年9月1日(木)～9月4日(日) 3泊4日

### 校外フィールドワーク

**湖北歴史探訪** 10月14日(金)

総合的な学習の一環として、地元湖北の歴史や文化に触れる行事を実施しました。

各班が事前に自分たちで決めたテーマにのっとり、長浜市内の博物館や資料館を巡回しました。中には彦根城や竹生島へ出かけた班もありました。

**生徒の感想より（抜粋）**

- 長浜市に住んでいるのだからいまさら見る所なんてないと思っていたが、意外にも知らない場所がたくさんあった。
- 普段自転車などで何気なく通り過ぎているような場所にも歴史があったりして、地元のことを知ることは大切なことだと感じた。
- 観光客が多くびっくりした。長浜を誇らしく思った。もっと湖北の良さを発信したい。

# 国際対話教育プロジェクト
## ～フィンランドとの交流～

平成23年11月17日（木）15:15（現地時間8:15）から、フィンランドのヨエンスー高校の生徒とスカイプを通して交流を行いました。この交流は、電子黒板販売会社の（株）ナリカからの提案で、教育家庭新聞社が協賛して実現しました。電子黒板などのＩＣＴ機器がグローバル人材育成に効果的であることから、本校と海外の（電子黒板導入）高校をインターネットを通じて結び、スカイプというビデオ会議用ソフトを使ってテレビ会議を行い、文化的背景の異なる人々の考えに触れ、建設的なコミュニケーションを築くことを目的とした企画です。ＥＳＳ部員12名とコアＳＳＨ生徒4名が英語で交流しました。

**生徒の感想**

- えっ？高校生？大人っぽい！
- お互い英語は外国語なのに、フィンランドの高校生のレベルは高い。
- 楽しかった。また話してみたい。

**テーマ**
**Why, what and how do you learn at your high school?**
（お互いの学校生活について）

相手校と繋がった瞬間

自己紹介（電子黒板に虎高を写して）

対　話

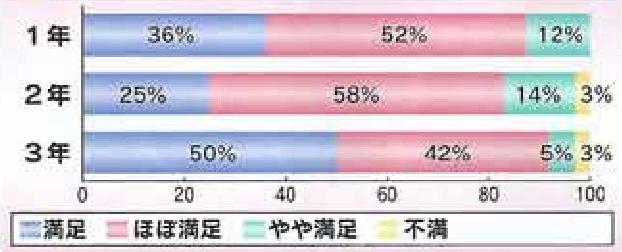




# 「生徒の生活と学習に関するアンケート」結果
（平成23年10月13日実施）

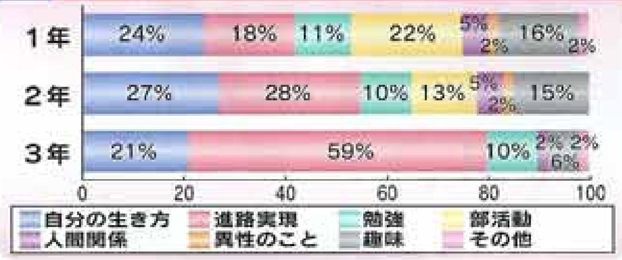
このアンケートは、40項目に及びますが、以下10項目のみ抜粋して紹介します。なお、保護者のみなさんから答えていただいたアンケート結果は、生徒・教職員のアンケート結果とともに、ホームページにて公開しております。

### 1　本校での高校生活に満足しているか。



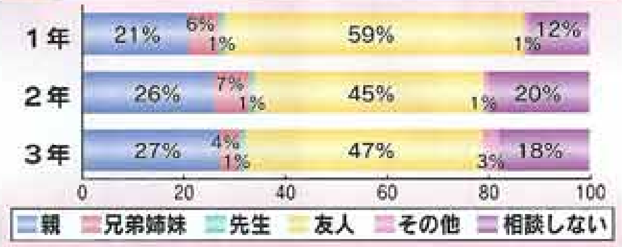

### 2　本校の授業全般について満足しているか。

### 3　今、最も関心を抱いていることは。

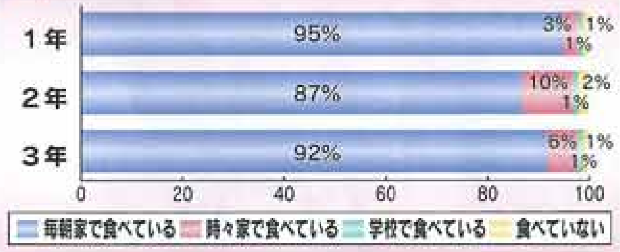



### 4　何でも打ち明けられる友だちがいるか。

### 5　悩み事・心配事は誰に一番に相談するか。

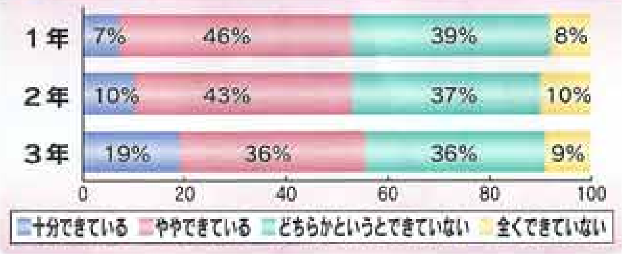



### 6　毎朝、朝ごはんを食べているか。

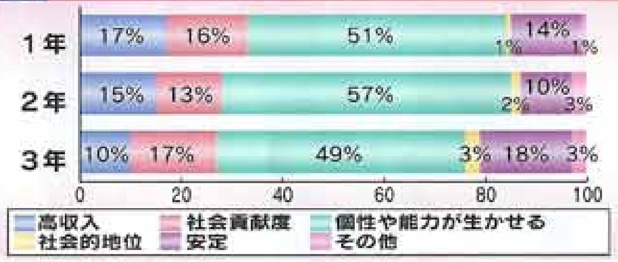



### 7　塾や予備校に通っているか。

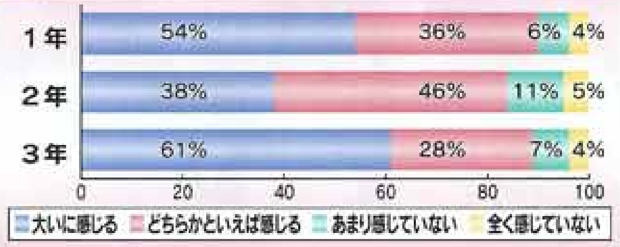
### 8　部活動と勉強と両立できているか。




### 9　職業選択で最も重視するものは。




### 10　虎高生であることを誇りに感じるか。



# 虎祭 スポーツの部

| | 総合の部 | 応援合戦の部 | 応援旗の部 |
|---|---|---|---|
| 1位 | 3−3 | 3−5 | 3−1 |
| 2位 | 2−2 | 3−1 | 3−5 |
| 3位 | 1−1 | 3−3 | 3−4 |

# 虎祭

## テーマ つながり ～Relationship～

**会場：虎姫高校**
7月6日(水)～7日(木) クリエイティブの部
8日(金) スポーツの部

### ＰＴＡ虎祭への協力

本年度の虎祭では、次の内容で参加・協力をしました。

**スポーツの部当日のジュース販売**

**クリエイティブの部2日目のパン販売**

この販売はひかり園作業所とつつじ作業所の協力をいただき、実施しました。すぐに売りきれ、盛況に終わりました。

| | | 最優秀 | 優 秀 |
|---|---|---|---|
| 1年 | 音楽フェスタ | 1−3 | 1−2 |
| 2年 | クラス企画 | 2−2 | 2−1 |
| 3年 | ステージ発表 | 3−3 | 3−5 |

# クリエイティブの部 虎祭

# 高大連携講座

## 金沢大学連携講座
8月17日(水)・18日(木) 1泊2日
対象・参加人数　2年生文系生徒 81名

**講義テーマ**
第1日
人文学類「科学としての心理学：
　実験心理学と臨床心理学を体験してみよう」
法学類　「私の好きな漫画が変わっちゃう？
　表現の自由とその限界を考える」
経済学類「世界の経済と福祉～戦後の変化を捉え
　現在の課題について考える」
国際学類「ヨーロッパとアフリカ」
第2日
人文学類「ヨーロッパ中世の資料を読む」
法学類　「私の好きな漫画が変わっちゃう？
　表現の自由とその限界を考える」
地域創造学類「幸せに生きるための地域づくり」
学校教育学類「おもしろい授業ができる教師がよい教師」

生徒は17日と18日の開講講座よりそれぞれ1講座を、異なる学類より選択受講しました。

## 滋賀県立大学連携講座
8月22日(月)・23日(火) 2日間
対象・参加人数　工学部機械システム工学科（物理分野）
　2年生理系生徒　22名
　工学部材料科学科（化学分野）
　2年生理系生徒　7名
　環境科学部生物資源管理学科（生物分野）
　2年生理系生徒　23名

**概要**
物理分野　工学部機械システム工学科　山根 浩二 教授
　「廃油バイオディーゼル燃料の製造」
化学分野　工学部材料科学科　谷本 智史 准教授
　「分光光度計を用いた
　　さまざまな色の溶液の吸光度の測定」
　「特殊なペプチドを用いた金イオンの吸着回収
　　を分光光度計で測定する実験」
生物分野　生物資源管理学科　長谷川 博 教授
　皆川 明子 助教
　「大腸菌への遺伝子導入実験」
　「水田水域にすむ生きものを調べる」

## 滋賀医科大学連携講座
8月17日(水)・18日(木) 2日間
対象・参加人数　医学コース 2年生・3年生理系生徒 27名
　看護コース 2年生・3年生理系生徒 9名

**概要**
1日目　医学コース・看護コース共通
　講義「地域医療の現状と課題」
　講義「インフルエンザ」
　講義と演習「がんからみた医学」
2日目　医学コース
　実験実習「ラット心臓を用いた
　　心臓拍動の調節に関する実習」
　看護コース
　講義「医療における
　　コミュニケーションの必要性」
　講義「人間の24時間の生活と看護」
　講義と見学「後輩の皆さんへ ～ 看護職とは」

## 長浜バイオ大学連携講座
9月10日(土) 9時～12時
対象・参加人数　2年理系全員90名参加
場所　長浜バイオ大学

2年理系全員を対象として土曜講座として実施。
生命科学の実験・実習3つの講座から選択して受講。

**講座概要**
① 固定化酵素の作製と反応
② 手動PCRでのDNAを増幅しよう。
③ 病気に関係する遺伝子を検索しよう。

## 高大連携発表会
9月29日(木) 7限

1・2年全員を対象として体育館で実施。
高大連携講座（滋賀医大、滋賀県立大、金沢大学）に参加した成果を、プレゼンテーションしました。成果を共有するとともに、1年生に対しては、来年度の講座参加の意欲を高めることも目的の1つです。

# コアSSH班の研究

## 雑草で世界を変える

コアSSH班では、『雑草で世界を変える』を合言葉に、毎日放課後、化学室を中心に研究を進めています。本年度の研究は、「雑草からのエタノール製法と定量方法の確立」をテーマにしています。
今回の研究・発表では、「私たちの世界にムダなものはない」ということを、国内外に発信したいと考えています。日頃、実験を繰り返していると、一見ムダと思われる実験からも多くの発見があることに気づきます。何事もやってみると必ず何か見つかるので、挑戦してみることの楽しさを感じています。
最近、素晴らしいアイデアやひらめきはこのような経験から生まれるかもと、メンバーで話しています。

写真は、膳所高校（11/12）での中間発表会での様子です。また、このロゴマークは自分たちで製作したものです。

今後は、テーマの研究を継続しながら、英語によるプレゼンの準備を行い、3/10～3/22のイギリス研修に出かけます。

## 大阪大学大学院講座

コアSSH班とオブザーバーの希望者で、8月3日～4日に大阪大学大学院講座を実施しました。野末泰夫教授・杉山清寛准教授（ともに物理学専攻）の指導のもと、光学実験を行い、レポートを発表しました。本校の先輩方も駆けつけてくれました。
ナノテクノロジー研究室では、走査トンネル顕微鏡により原子・分子が1個ずつ見えたり、大学教授が高校生のレポート発表にコメントをくださるなど貴重な体験ができました。

# 生徒会活動

H23年度下半期

私たち生徒会執行部は、11月から「あいさつ運動」と「美化活動」に取り組んでいます。

毎週木曜日に昇降口前で実施している「あいさつ運動」には、各部活動の部員も協力してくれます。元気な声や友達の笑顔に迎えられて、気持ちよく一日が始まるといいなと思っています。「美化活動」は、月に一回、放課後に１５分の美化タイムを設定して、普段なかなか行き届かない場所をみんなで整理整頓しようと呼びかけています。部室や部室周辺、みんなで使用する更衣室・洗面所・自転車庫など、手分けをしながら、少しずつでも綺麗にしたいと思っています。そして、このような活動を通して、もっと活気のある、居心地のいい虎姫高校を作っていきたいです。

### 執行部員のことばから

○毎週木曜日、登校してきた生徒たちは、生徒会や積極的に協力してくれる生徒たちの元気の良いあいさつに迎えられる。あいさつの声の大きさに圧倒され、恥ずかしそうにあいさつを返したり、活動をしている生徒の中に親しい友人を見つけて悪戯っぽく笑いながらあいさつしたり。

普段の自分たちの身の回りを清潔にし、礼儀もしっかりとして、勉強、部活その他の様々な高校生活を向上させ、より充実したものにしよう、という思いで始まったこの運動、なかなかうまくいかないこともある。そんな時、気持ちよくあいさつをしてもらうと、すこしでも睡眠時間をむさぼりたい気持ちを耐えて朝早く登校した甲斐があったと感じる。睡眠に勝る心地よさを感じられるこの活動、執行部員として続けていきたい。

○「美化活動」一回目は、何をするのかわからない人や何もせずに帰ってしまう人も少しいましたが、掃除を終えた生徒が私たちにあいさつして帰っていくのを見ると、うれしさとやり甲斐を感じました。これからもっと呼びかけ、「自分が虎高を綺麗にしているんだ」という意識を生徒一人ひとりが持てるように続けようと思います。

## 各学年の生徒の近況

### 1年　岩佐　咲希

先輩と共に（中央が本人）

虎姫高校に入学して、学習量の多さに驚きました。私に限らず、クラブ（バレー部女子）の活動は自分がやりたいことなので、打ち込んでいますが、勉強は好きじゃないのがホンネです。だから、「自分が負担に感じない工夫をしないとやってられへん」と考え、同じやるなら学習を受け身にせず、考えてやるようにしました。主体的に取り組む工夫をすると、心に余裕が生まれる感じがしました。

最近は、「何事にも主体性に取り組む時＝やる気が出る時」と考えています。すると、学習だけでなくクラブもより楽しくなりました。主体的になることが自分には大切で、両立できる方法かなと思ってます。

### 2年　土田　渚

今、私はバスケに夢中です。主将としての目標は、「苦しい時に声を出して励まし合い、笑顔の絶えないチーム」にすることです。これはチーム全体が、自分たちに厳しい姿勢を求める必要があり、まだその域には達していません。

ですから、チームが苦しい時に、雰囲気を変えられる選手になりたいと思ってます。

バスケでこの目標を達成したら、来年の受験勉強や将来の生き方にも、自信を持てると思っています。

最近家庭学習面では、学習環境を良くすることで集中できたり、以前よりも学習時間が確保できて両立できるようになってきました。

### 3年　藤脇　明寛

７月に野球部を引退してから、スムーズに切り替えられたと思います。教科による差はありますが、分からない問題が減ってきたので、学習は順調に進んでいる方だと思います。

勉強をする上で心がけていることは、次のようなことです。

1.「苦手なことを１つ克服したら、１つ確実に賢くなる。」と単純に考え、前向きな姿勢を保つ。
2.「波をなくすために、維持することが一番大切」と考え、毎日継続できるペースで行う。
3.「学習時間だけで学習できている気分に陥らない」ように注意する。

そして、野球と学習両立のため、効率よい学習方法を求めたことが、今に活かされています。

でも、正直なところ受験勉強はきついですが、来春には笑っていられるように頑張ってます。





## 「自立」について

校長　西嶋　博純

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

３月11日の東日本大震災から９ヶ月が経ちました。これから厳しい冬を迎えられます被災地の皆様の健康と現地の一日も早い復興をお祈りします。

学校ではいよいよ２学期も終わり、３年生はこれから１月14、15日の大学入試センター試験に向けて気が抜けない日々が続きます。

さて、本校の責務は生徒に学力、人間力をつけ、それぞれの希望する進路を保障していくことです。本校で培った力が、やがて将来、社会で活躍できるための大事な基礎となります。目標とする大学等に合格することはもちろん重要ですが、その先にある、社会に出てからどのような大人として生きていくのかはさらに重要なことであろうと思います。

成熟した大人になるための条件として「自立」があります。辞書によると自立とは、「他からの支配や援助を受けず、自分の力だけで物事を行うこと」とあります。他人に頼らず、自分で生きていくことを意味しています。しかし、実際に他人から一切援助を受けず自分の力だけで生きていけるかというとそう簡単ではありません。現に我々は食べるもの、着るものから電気、灯油、電化製品にいたるまでほとんどを他人が作ってくれたものや他人からの支えによって生きているからです。

哲学者の鷲田清一さんが「自立」とは、他人から独立していることではなく、他人との相互依存のネットワークをうまく使いこなせることであると述べています。独りで生きるのではなく他人と支えあって生きることが本当の自立であるという考え方はこれからの社会においてますます重要となるでしょう。

そのため、助けてほしい時に相手に自分を助けてやろうという気持ちにさせられること、相手が困っていたらそれに気づいて手を差し伸べられることは生きる力としてとても大切なものとなります。

生徒たちに自ら考え、自ら努力するという自主性を育てるとともにお互いに支えあって生きているという意識を高めることは大変重要なことです。10月に実施しました生徒への「生活と学習に関するアンケート」で、学校生活に満足していると答えた生徒の８割が理由として「校風・学校の雰囲気」と「友人」をあげています。

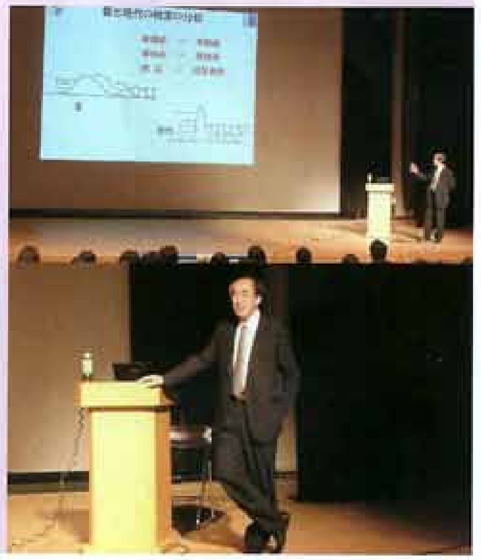
自分を認めてくれる、思いやりがある、話せる、互いに切磋琢磨できるなど、クラスや学校の居心地の良さは教職員や生徒たちから醸し出される雰囲気であり空気です。生徒一人ひとりが自分の夢や目標に向かって勉学や部活動に励む中で、お互いに「自立」した人として助け合い、高め合える学校の雰囲気づくり、生徒同士の良い人間関係づくりを大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが保護者の皆様には今後ともＰＴＡ活動に対し、ご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 第1学年　大学講座

### 東京大学　高田先生『世界に自分の夢を求めよう』

11月12日(土）に東京大学大学院教授高田毅士先生の「大学で学ぶとは？」という講義を聴きました。東京大学といえば日本を代表する大学です。またお話しいただいた高田先生は本校25回卒のOBで、生徒は大いに刺激を受けました。先生は、いったん企業に勤められてから大学教授になられたそうで、何事にも挑戦することの大事さを生徒たちは学びました。また、理系の先生でおられるのに、英語の大切さを強調されていたのも印象に残りました。「東大までの学生、東大からの学生」を置き換えた「虎高までの学生、虎高からの学生」の後者を目指したいという声が多く聞かれました。



### 余談

講演前に高田先生にお話を伺うことができました。その中で印象に残ったお話を紹介します。

1．「自分の活躍するステージを世界に求めて欲しい」と、若者にエールを送っておられました。
2．先生は、確率を応用しながら建築物の安全性について研究されています。先生のご研究は、危機管理においても重要な役割を果せると大きな期待が寄せられています。
3．先生は大手建設会社から東京大学に移られた経歴をお持ちです。その時は、将来への不安などからとても悩まれたそうですが、逆にその不安を武器にしようと考えを改められたようです。
先生の積極的な生き方の本質に触れたようでした。

12月22日～23日に「東京大学連携講座」が行われ、１、２年生20名が参加する予定です。高田先生の研究室を初めとする大学の施設見学、東京都内の建築物を事例とした見学説明会などが予定されています。

# PTA全国大会 in 北海道

PTA副会長　押谷　喜美子

さる８月24日より３日間、全国高等学校ＰＴＡ連合会大会が北海道で開催され、虎姫高校ＰＴＡより、６名が参加しました。

## 旭山動物園のチンパンジーに聞きました「なんのために生きているのですか？」

前旭山動物園園長・小菅正夫氏（北海道大学客員教授）の講演を聞きました。

小菅氏がゾウやカバやチンパンジーたちに「あなたは、なんのために生きているのですか」と尋ねると、動物たちは一様に「子どもを産んで育てるために生きています」と、答えたそうです。「四十億年もの間、数え切れない数の生き物が、命をつないできてくれました。今、生きているということは、未来へ命を繋ぐバトンタッチの場なのです」と、小菅氏は結ばれました。

「何のために生きるのか？」このことを、地球上の生き物の中で、人間だけが忘れかけてはいないでしょうか。私たちは、受け継がせてもらった生命に感謝し、この生命をしっかりと、子どもたちに伝えていきたいものです。PTA活動も、命のバトンをつなぐ場でありたい、と思いました。

## 普通の子ども達が精神科を訪れるようになりました　何故？

精神科医・香山リカ氏（立教大学教授）の講演を聞きました。

香山氏は「この十年くらい、どこにでもいる普通の子が、診察室にやってくるようになった。運動や勉強がよくでき、周囲から認められる子もやってくる。共通する特徴は、自分に自信がない。身近な人から愛されていないと感じている。そんな自分を隠して人に見せないようにし、ビクビクしながら暮らしている」と話され、ショックを受けました。

忙しさの中で、子どもとゆっくり向き合う余裕を失っていないでしょうか。子どもが悩みなどを話しやすい家庭であるために、親も、健康に気をつけ、楽しく朗らかに暮らしたいものです。会員同士が情報交換などして楽しめ、ほっとできるPTA事業を、充実させていきたいと思いました。

## ひたむきに頑張る君たちを応援したい

「吹奏楽」「よさこいソーラン」「和太鼓」「書道パフォーマンス」など、様々なアトラクションには、あふれるエネルギーを感じ、そのひたむきな姿に、胸が熱くなりました。

北海道の、頼もしい生徒たちの姿を眺めながら、虎姫高校の生徒たちのことを思い出しました。北海道の高校生に負けないくらい、勉強や生徒会活動や部活動に、みんなそれぞれがんばっています。どうか、命を大切にし、生き生きと喜びをもって日々を送ってほしい。ひたむきに頑張る君たちを応援するPTAでありたいと、強く感じた三日間でした。

# おやともの会

11月５日(土)午前10時より、姉水会館において今年度初の試みとして「おやともの会」が開催されました。参加者は33名で５つのグループに分かれて討論会が実施されました。

終始なごやかな雰囲気の中ではありましたが、どのグループも熱い話し合いが続き、あっという間の90分でした。

「勉強と成績」「勉強と部活」「睡眠時間」「大学進学」「将来のこと」「家庭生活」など、いろいろな意見が飛び交いました。

「みんないろいろなことに悩みつつ、親子でがんばっているんだな」「こういう機会はすごく貴重でした」という声が多かったです。高校生になると、あまり子どもと話をしなかったり、親同士の交流も少なくなりますので、来年も是非実施していただくことを期待しています。

学生スタッフの説明

学校説明

同志社のスタッフ

前庭にて集合写真

総合図書館と学生スタッフ

# PTA研修旅行

10月12日(水)　参加人数83名

さわやかな秋晴れの中、同志社大学京田辺キャンパス・薬師寺に向け出発しました。本年度は大学見学だけでなく、東日本大震災の被災者追悼と、会員自身の自己研鑽を目的に薬師寺に行ってきました。

オープンチャペルで、ミサが行われます。

## 研修旅行に参加して

田邉　昌美

さる十月十二日爽やかな秋晴れの中、恒例の研修旅行に参加させていただきました。総勢八三名がバス二台に分乗し、目指すは関西私学の雄、同志社大学京田辺キャンパス。車中、生徒たちの日頃の様子を、スライド写真に先生方のお話を織り交ぜて楽しく見せていただきました。到着してまず驚いたのがキャンパスの広さ、そして緑豊かな中、レンガ色の校舎がとても映えて素敵！が第一印象です。大学の概要説明をお聞きし、その後、五つの班に分かれて学生さんに学内を案内していただきました。近代的に整備された施設を見学しながら、個性的な学部と充実したカリキュラム、国際色豊かな教育方針、それにインターンシップ制度など学生さんの目から見た大学のお話を伺いました。最近の就職状況を考えますと卒業後の進路を踏まえた大学と学部選びがより重要に思い、一年次から誰でも参加することができるインターンシップ制度については特に興味深く感じました。

体育施設についても、本当に目を見張るばかりの競技施設があり、この環境の中で、日本を代表する選手が育っていることにも納得ができました。

大学を後にして次に向かうは、お楽しみの昼食。「割烹　東吉」にて季節の素材を生かした懐石料理に舌鼓を打ち、食欲の秋を堪能しました。

午後の研修地である薬師寺では、西行法師の言葉を引用された法話を聴聞し、「蛇口をひねれば水が出るように、あたりまえであることに感謝する」ことの大切さについて、考えさせられました。東日本大震災で犠牲になった方々に合掌しながら、なに不自由ない生活をしている今を感謝せねばと思いました。

大唐西域壁画殿では、平山郁夫画伯の絵画を見学しました。その壁画に私は圧倒され、その場で暫く見入ってしまいました。このレプリカが守山の佐川美術館で見ることができるそうです。一流の芸術に触れ、芸術の秋も楽しむことができました。

帰途のバスでは懐かしい曲とともに、先生やＰＴＡ役員の方たちの高校時代の写真と現在の写真が紹介されたスライドを愉快に拝見できました。

初めて参加させていただいた研修旅行ですが、思い出に残る楽しい秋の一日となりました。

薬師寺での一コマ

金堂での法話

国宝　五重塔

薬師寺金堂

虎高PTA通信

第130号

平成23年12月15日発行

## ルールとマナーを守って生活しよう。

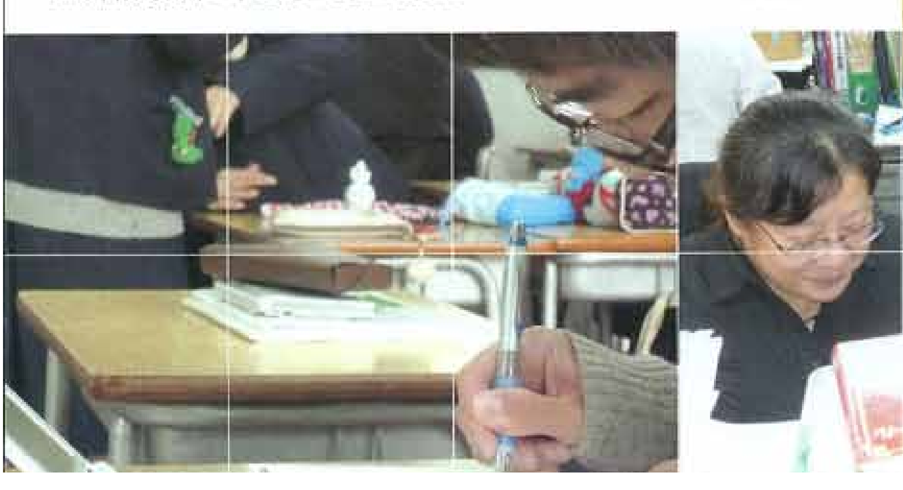
- 冬休み中も、登校の際は服装・頭髪等が乱れないよう留意しよう。
- 自転車の交通違反をしないように安全運転に心がけよう。
  ※自転車はルール上「車両」で、自動車と同じように扱われ、違反すると処罰の対象になります。携帯電話の運転中の利用は、自転車であっても禁止されています。安全運転を怠ると、自らの身に危険が及ぶことはもちろんのこと、他人の身にも危険を及ぼします。死亡事故さえ起こっていることを忘れずに、安全に自転車を利用しましょう。
- 年末年始は、気分がゆるみます。飲酒・喫煙・深夜徘徊（午後11時～午前5時の間の外出）は絶対にしないように!!

## 編集後記

本年度、広報委員長をお引き受けすることになりました。保護者のみなさんに、何をお伝えすると良いのか、広報委員の方々と検討を重ねました。

本年度のPTA活動のテーマは「コミュニケーション」であり、生徒の学園祭テーマは「つながり」でした。ならば、生徒と先生、保護者が共に歩む姿をお伝えできないかと考えました。そのようすをダイレクトに感じていただくために、写真を多く採用し、従来と異なるパンフレット型（A4版フルカラー）の通信に変更しました。また、できるだけ簡潔な文章にするように心懸けました。

長谷部 記



印刷／㈱シバタプロセス印刷